



グループウェアとしても使える統合されたサービスで、かつ Web ブラウザ上で稼動するので環境に依存せず、しかも廉価とくれば、これでいいじゃないかと思いましたね。

仁瓶聡史氏

サンスター文具株式会社  
経営企画本部事業戦略部主任



<http://www.sun-star-st.jp/>

## GOOGLE APPS について

Google Apps for Business は、クラウドの価値を実感できる、画期的なホスティング型オフィス・スイート。1人 25GB の大容量メールボックス、会議への招集も簡単なカレンダー、1つのドキュメントをオンラインで共有しながらのレビュー、誰でも簡単に立ち上げられるサイト、急ぎの用件や確認に便利なチャット、円滑なリモートワークを実現するビデオ通話、動画の投稿や共有、そして強力無比の検索などなど。Google Apps for Business には、社内情報を共有・管理し、最大限に活用するさまざまな機能がセットされています。しかも、費用は1ユーザーあたり年間 6000 円。IT 部門の管理者は、サーバー需要の増加、メンテナンス作業、セキュリティ対策などに悩む必要もありません。

詳細は <http://www.google.co.jp/a> まで

\* すべての企業名及び製品名は、該当する企業の商標または登録商標です。

# レンタルサーバーのメールシステムで 70 ~ 80% もスパムが占めていたところを、Gmail で一掃。かつ Mac ユーザーも Windows ユーザーも問題なくグループウェアが利用可能に

## 事業概要

大人から子供まで幅広い層をターゲットに、オリジナルアイデア文具やキャラクター・ファンシー文具、ランチグッズなどの雑貨、年賀用品、幼児知育商品などの製造販売を手がける。

## 製品導入前の状況と課題

メールシステムは、2007 年 12 月に Google Apps for Business を約 150 アカウント（現・約 200 アカウント）導入するまでは、レンタルサーバー会社のサービスおよび、社内情報系データベースとして導入した Lotus Notes® のメールを利用していた。Lotus Notes® は外部へのアクセスには利用できず社内メールのみの利用で、社外用のレンタルサーバーのサービスと使い分けていた。ところが、その社外メールは 70 ~ 80% をスパムが占めるという有り様であったという。また、Lotus Notes® は Windows でしか稼動しない設定のものであったが、社内には Macintosh ユーザーが約 30 名おり、その人たちが Lotus Notes® を使う時は、3 台の共有 Windows 端末を交代で利用しなければならない状況にあった。

「社内の情報共有は Lotus Notes® で行うことになっていましたが、朝など 3 台の端末の前にその 30 人が行列状態となっていたほか、社内のデータベースにアクセスするたびに自席を離れなければならない状況にありました。スパムの多さと併せて、ネット業界から転職した直後にその問題に接して、リプレイスの必要を感じました」とシステム導入を担当する経営企画本部事業戦略部主任の仁瓶聡史氏は言う。

## Google Apps for Business 導入の経緯

まずは優れたスパムフィルターが備わっているメールシステムを導入しなければならないと考えた仁瓶氏は、スパムフィルタリングが優れていることを知っていた Gmail を想起。「しかし、2007 年の当時は無償版しかないと考えて、それでは法人には適さない」と諦めていた。そこで、シマンテックなどスパムに強そうな他のレンタルサーバーのメールシステムか、オンプレ

**Google ドキュメント を社内集計業務などに利用しています。**  
**従来は Excel をファイルサーバーにアップして共有していましたが、同時に開けず、設定も面倒なところがありました。**  
**それがなくなって便利になりましたね。**

レミスでシステム構築するかを検討したが、「コストがかかる点に困惑した」という。そんな時に、ニュースサイトで日本大学が Google Apps for Business を導入したことを知り、早速調べた。

「グループウェアとしても使える統合されたサービスで、かつ Web ブラウザ上で稼動するので環境に依存せず、しかも廉価とくれば、これでいいじゃないかと思いましたね」

ほかにもグループウェアとしてサイボウズも検討したが、別途メールサービスを何かしら利用する必要があり、オールインワンで揃っている Google Apps に決定。社内決裁を取る際は、スパムの削除作業を人件費に換算すると年間約数百万円に及ぶことを強調したという。

## Google Apps for Business 導入の効用

まずは、スパムが一掃された。「最近、社内で『そういえば昔はスパムが一杯来ていたけれど、全然来なくなったね』という会話を耳にした」と仁瓶氏は顔をほころばす。かつ、Macintosh でも問題なく利用できるようになった。また、Google カレンダー を利用して会議室や社用車の予約システムを導入。「バッティングがなくなって社内からは大好評」という。そして、Google サイト を活用し、社内ポータルサイトを構築して情報発信・共有を推進している。さらに、Google ドキュメント を社内集計業務などに利用。「従来は Excel をファイルサーバーにアップして共有していたが、同時に開けず、設定も面倒なところがあった。それがなくなって便利になった」。

コスト面では総額においては以前とさほど差はないが、「機能が大幅に増えた分、相対的にコストは低下したと言える」と言う。

「システム管理側としては、従来、2 つのシステムを管理していたのが 1 つで良くなり、かつ手間も劇的に少なくなったのも嬉しいですね」と仁瓶氏は満足げだ。